

図書館サービス事業

笠間市立図書館

1. 目的

書籍や映像音楽の資料を収集・整理し保有して、地域住民に対し、資料の閲覧や貸出を行った
り、施設利用を提供することにより、知識の向上を図る。

2. 内容

図書館資料の主たる利用形態である貸出について、利用者の要望に沿って行われる方法として
リクエストや相互貸借、レファレンス等を実施する。

①リクエスト（サービス）は、貸出中や未所蔵といった理由で書架にない資料に対しても利
用要求を受け付けるサービスであり、貸出中の資料については予約（順番待ち）の受付、
未所蔵資料については新規購入や他の所蔵館から借りて当館利用者に貸出す（相互貸借）が
あります。

②資料費やスペース等の制約から、日本の公立図書館は、相互貸借という方法を用い、お互
い助け合いながら利用者の資料要求に応え、図書館サービスの充実に努力しています。

③レファレンス（サービス）は、利用者からの要望に基づき、図書館職員が図書館資料に関
する知識や職務経験を活用して、資料の探し方や使い方を利用者に援助するサービスです。

3. 実施状況

① 笠間市立図書館のリクエスト件数、及び他館からの借受による利用者への提供数

	総 数	笠間図書館	友部図書館	岩間図書館
リクエスト件数	73,435	33,446	28,041	11,948
うち他館からの 借受による提供数	1,990	775	992	223
これらの大部分が県内公立図書館からの借受による提供です。				

② 笠間市立図書館の合併後4年間の貸出冊数は増加しています。

年度	総 数	笠間図書館	友部図書館	岩間図書館
平成 18 年度	981,367	550,463	409,630	21,274
平成 19 年度	1,072,571	592,497	440,032	40,042
平成 20 年度	1,268,384	623,342	544,100	100,942
平成 21 年度	1,386,381	626,865	549,121	210,395

4. 内部評価

本市図書館における一人当たりの貸出冊数は全国でも非常に高く、市民が求める資料の提供をは
じめとする様々な図書館サービスは、市民の教育と文化の発展に貢献している。現行どおり継続
実施し、今後も市民へよりよいサービスを提供していく。

5. 外部評価委員会の意見

必要性		有効性		効率性		総合評価	
<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続			
<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input type="checkbox"/> 改善し,継続			
<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> 休止又は縮小			
<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> 民間に移管			
<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 廃止			
				<input type="checkbox"/> 事業完了			

○館の日常的な努力がよくわかり、その努力は十分評価される。一斉休館の件は、要検討。

○市民の教育と文化の発展に貢献している社会教育機関として現行どおり継続実施していくべきと認められる。

なお、休館日が常に3館一斉休館として運営されているが、市民ニーズを把握して交替休館も視野に検討してみるべきと思われる。

○三館がそれぞれに独自性をもって、また、各館が協調して、事業が展開されていると思います。利用者や貸出冊の増加がそれを裏づけていると思います。今後は、高齢者や障害者等、来館が困難な人たちへのサービスも実施していく必要があるのではないのでしょうか。(例えば、宅配、各地域の公民館での移動図書館等々。)

6. 外部評価に対する改善等の取り組み

- ① これからも、社会情勢の変化を日々把握し、出版情報も継続的に収集・分析して、潜在的な需要までカバーした選書と資料提供に努めてまいります。
- ② 高齢化が進行していることもあり、来館が困難な方の図書館サービスに対する需要は高まっていると考えております。移動図書館等の実施には多大な経費が必要となりますので、効率的で安価な方法が他にないか検討してまいります。
- ③ 3館の定期休館日(月曜日)をずらせば、常にいずれかの図書館が開館している日が増えることとなりますが、逆に3館が一斉開館している日数は減ることとなります。
また、当館は現在、9時～19時の開館を実施しております。3館が一斉開館している日数が減れば、3館の一体的な運営や職員同士のコミュニケーションに支障が生じ、それがサービス低下につながる恐れもありますので、慎重に検討してまいります。